

の方は前にさし出し、左手の方を胸前近くに
して、互いに対立させる。前にさした親指は
相手を意味する。

青 やや屈めた中指と人差指の指頭で舌の
上を掻くようにする。

赤 人差指を横にして、口唇の下を軽くこ
する。口唇の赤さを表わしたものを。

赤子（赤ちゃん） 五指の指頭を上にな
し、掌を前に向けた両手を肩の辺りに挙げ、左
右に振る。

崇める 親指の指頭を上になし、右手を、
左手の掌の上に載せ、目の上辺りまでさし上
げる。

明るい 指頭を上にして掌を前に向けた両
手を顔の前で合わせて、それを左右に勢よく
離す。「昼」の手まねと同じ。閉ざされた闇
が開け放れる感じを表わしたものを。

秋（涼しい） 軽く握った拳を前にさし出

した両手の肘を両腹脇にぴったりとつけ、全
身をこまかく身ぶるいさせる、肌寒さに身ぶ
るいすること。

商い 商う 親指と人差指で（他の三指は
伸ばしたまま）輪（金銭）をつくった左右両
手を胸の前で上下して、同時に互い違いに水
平に回転させる。

明らか 掌を内側に指頭を上になしして五指
をびんと伸ばした両手を胸の前で、僅かな間
隔をもってならべて、そのまま、右手を前へ



押し出し、左手
を内側に押し返
す。両手が前と
内側に明確に分
け隔てられた意
味を示している。
「はっきり」と
もなる。

諦める 「かまわない」の手まねをして(すなわち小指の指頭を下口唇を二三度叩く)次に五指の指頭を上になさし掌を右向けにした右手を左胸上につけ、それをそのまま斜めに降ろして行く。胸にたたみ置くと云う心得。

悪(悪い) 指頭を上になさした人差指を鼻頭の上を右から左へこすって通過させる。

「善い」と云う手まねが鼻の上の掌を持って行って「天狗」を表わすのに対して、「悪い」の手まねはその「天狗鼻」を切る意味である。

飽く 親指の指頭を上になさした手を胸にびったりつけ、折り曲げた四指を軸にして親指を下へ廻して降す。胸一杯つまっていやになつたと云う表情。

厭く 掌を胸にびったりつけてから、前へ弾ね返らせる。いやになつて胸が悪いと云う表情。

悪意 親指の指頭を上になさした右の手を腹の右脇につけ、親指を曲げ伸ばしながら、腹の上を左へ移動させる。腹の中(心)がねじけている意地悪すなわち悪意である。

悪口 悪の手まねをして、指頭を上になさした人差指を口唇にあてがってから、前へまっすぐにさし出す。言葉の口から吐き出す。すなわち「云う」の手まねである。

悪徳 道徳(修身、倫理)——はずれる(適しない)

悪人 悪意——人々(或は単数では男性、又は女性)

明ける 「明るい」と同じ手まね。

開ける 五指の指頭を上になさし、掌を前向けた両手を左右にならべ合わせ(両手の親指ふつけ合わす)て、それを開き戸を開けるように、(両手の掌をクルリと内側に反転させて右に離して行く)。